改訂モデル・カリキュラムに基づいた
薬学実務実習に関する事前調査結果

第1回　北海道地区

調査期間：2015年11 月2 日（月）~11 月30 日（月）

調査の背景（薬局）

都道府県	回答施設数/依頼施設数（回答率%）	回答施設の背景	
		薬剤師数（最多数/施設数）	認定薬剤師数（最多数/施設数）
札幌	**85/150（56.6）**	**1～16（16/85）**	**0～5（5/85）**
札幌以外　計	**67/122（54.9）**	**1～12（12/67）**	**0～4（4/67）**
小樽	10/15（66.6）	1～9（9/10）	1～3（1/10）
函館	6/12（50）	1～7（7/6）	0～3（1/6）
旭川	10/22（45.4）	1～11（11/10）	1～3（3/10）
稚内	1/3（33.3）	2（2/1）	1（1/1）
南空知	5/7（71.4）	1～6（6/5）	0～4（4/5）
北空知	3/8（37.5）	1～6（6/3）	0～2（2/3）
釧路	6/11（54.5）	1～6（6/6）	1～3（3/6）
根室	1/1（100）	5（5/1）	1（1/1）
十勝	9/16（56.2）	1～6(6/9)	0～4(4/9)
北見	2/6（33.3）	1～6(6/2)	0～2(2/2)
網走	2/2（100）	1～2(2/2)	1(1/2)
室蘭	6/9（66.6）	1～4(4/6)	0～2(2/6)
日高	3/4（75）	1～3(3/3)	0～1(1/3)
苫小牧	3/4（75）	1～12(12/3)	1～3(3/3)
合計	**152/272（55.8）**	**1～16(16/152)**	**0～4(4/152)**

調査の背景（病院）

都道府県	回答施設数/依頼施設数（回答率%）	回答施設の背景	
		薬剤師数（最多数/施設数）	認定薬剤師数（最多数/施設数）
札幌	**46/66（69.6）**	**2～67（7/46）**	**1～18（2/46）**
札幌以外　計	**41/54（75.9）**	**3～43（7,19/41）**	**1～11（3/41）**
小樽･後志	4/5（80）	4～13（7/4）	2～3（3/4）
函館	5/9（55.5）	3～30（－/5）	1～5（－/5）
旭川	6/8（75）	10～43（－/6）	2～11（5/6）
稚内	1/2（50）	6（6/1）	2（2/1）
南空知	1/2（50）	6（6/1）	3（3/1）
北空知	3/3（100）	4～19（－/3）	1～4（－/3）
釧路	3/4（75）	14～19（－/3）	4～7（4/3）
根室	1/1（100）	5（5/1）	2（2/1）
十勝	4/6（66.6）	5～16（5/4）	1～3（1/4）
北見	1/2（50）	14（14/1）	4（4/1）
遠軽	2/2（100）	3～13（－/2）	2～3（－/2）
室蘭	5/5（100）	3～19（－/5）	2～4（3.4/5）
日高	1/1（100）	4（4/1）	1（1/1）
苫小牧	3/3（100）	10～18（－/3）	3～6（－/3）
留萌	1/1（100）	8（8/1）	2（2/1）
合計	**87/120（72.5）**	**2～67（7/87）**	**1～18（2/87）**

受入れ可能人数（薬局）　定員：400

都道府県	受入れ人数（施設数）				
	全人数（受入施設/回答施設数）	Ⅰ期（2月中旬～5月初旬）	Ⅱ期（5月下旬～8月初旬）	Ⅲ期（9月初旬～11月下旬）	Ⅳ期（12月初旬～翌年3月初旬）
札幌	**318（82/85）**	**52（34）**	**108（74）**	**108（76）**	**50（38）**
札幌以外　計	**215（64/67）**	**18（18）**	**74（71）**	**73（65）**	**50（48）**
小樽	33（10/10）	3（3）	11（10）	11（10）	8（7）
函館	13（4/6）	0（0）	4（3）	5（4）	4（3）
旭川	34（10/10）	2（2）	11（9）	12（10）	9（8）
稚内	3（1/1）	0（0）	1（1）	1（1）	1（1）
南空知	14（4/5）	0（0）	5（4）	5（4）	4（3）
北空知	5（2/3）	1（1）	2（2）	2（2）	0（0）
釧路	14（6/6）	1（1）	5（5）	5（5）	3（3）
根室	2（1/1）	0（0）	1（1）	1（1）	0（0）
十勝	31（9/9）	5（3）	12（9）	9（7）	5（5）
北見	6（2/2）	1（1）	2（2）	2（2）	0（0）
網走	6（2/2）	2（2）	2（2）	2（2）	0（0）
室蘭	21（6/6）	2（2）	7（6）	7（6）	5（4）
日高	12（3/3）	1（1）	4（3）	4（3）	3（2）
苫小牧	18（3/3）	0（0）	2（2）	2（2）	0（0）
合計	**533（146/152）**	**70(52)**	**182(145)**	**181(141)**	**100(86)**

受入れ可能人数（病院）　定員：400

都道府県	受入れ人数（施設数）				
	全人数 (受入施設/回答施設数)	Ⅰ期 （2月中旬～ 5月初旬）	Ⅱ期 （5月下旬～ 8月初旬）	Ⅲ期 （9月初旬～ 11月下旬）	Ⅳ期 （12月初旬～ 翌年3月初旬）
札幌	**275（44/46）**	**7（4）**	**93（35）**	**100（38）**	**75（30）**
札幌以外　計	**229（41/41）**	**17（9）**	**72（36）**	**77（36）**	**63（28）**
小樽・後志	16（4/4）	1（1）	5（3）	5（3）	5（3）
函館	27（5/5）	0（0）	9（5）	9（4）	9（4）
旭川	51（6/6）	1（1）	17（6）	18（6）	15（4）
稚内	6（1/1）	0（0）	2（1）	2（1）	2（1）
南空知	6（1/1）	0（0）	2（1）	2（1）	2（1）
北空知	19（3/3）	4（1）	2（1）	7（3）	6（2）
釧路	23（3/3）	0（0）	7（2）	8（3）	8（3）
根室	6（1/1）	0（0）	2（1）	2（1）	2（1）
十勝	16（4/4）	2（1）	6（4）	5（3）	3（2）
北見	9（1/1）	0（0）	3（1）	3（1）	3（1）
遠軽	8（2/2）	0（0）	3（2）	2（1）	3（2）
室蘭	23（5/5）	7（4）	7（4）	8（5）	1（1）
日高	2（1/1）	0（0）	1（1）	0（0）	1（1）
苫小牧	15（3/3）	2（1）	5（3）	5（3）	3（2）
留萌	2（1）	0（0）	1（1）	1（1）	0（0）
合計	**504（85/87）**	**24(13)**	**165(71)**	**177(74)**	**138(58)**

【参考資料】　平成２６年度実務実習実施状況　（保険薬局）

	薬局実習（４５．１％：４２３／９３７）			
	決定施設数 （受入可能施設数）	決定人数（受入可能人数）		
		Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期
札幌	**211（　161）**	**138（　180）**	**111（　182）**	**49（　154）**
札幌以外　計	**249（　172）**	**59（　139）**	**40（　144）**	**26（　138）**
小樽	27（　16）	9（　16）	8（　17）	6（　16）
函館	27（　14）	6（　10）	3（　9）	1（　11）
旭川	45（　31）	7（　25）	8（　31）	7（　24）
稚内	7（　5）	1（　1）	1（　1）	1（　1）
南空知	12（　8）	5（　9）	5（　9）	1（　9）
北空知	19（　15）	4（　12）	2（　11）	3（　11）
釧路	29（　18）	5（　16）	0（　16）	2（　16）
根室	4（　4）	1（　3）	0（　3）	0（　3）
十勝	24（　18）	6（　13）	5（　13）	2（　12）
北見	18（　16）	5（　10）	1（　9）	1（　8）
網走・遠軽	5（　4）	1（　2）	2（　2）	0（　1）
室蘭	15（　11）	5（　6）	2（　7）	1（　10）
日高	6（　6）	1（　8）	2（　8）	1（　8）
苫小牧	11（　6）	3（　8）	1（　8）	0（　8）
合計	**460（　333）**	**197（　319）**	**151（　326）**	**75（　292）**

在籍予定数：４７４名（北大３０、薬科大１９６、医療大２４８）
２５年１１月現在（２６'マッチングシュミレーション時点）

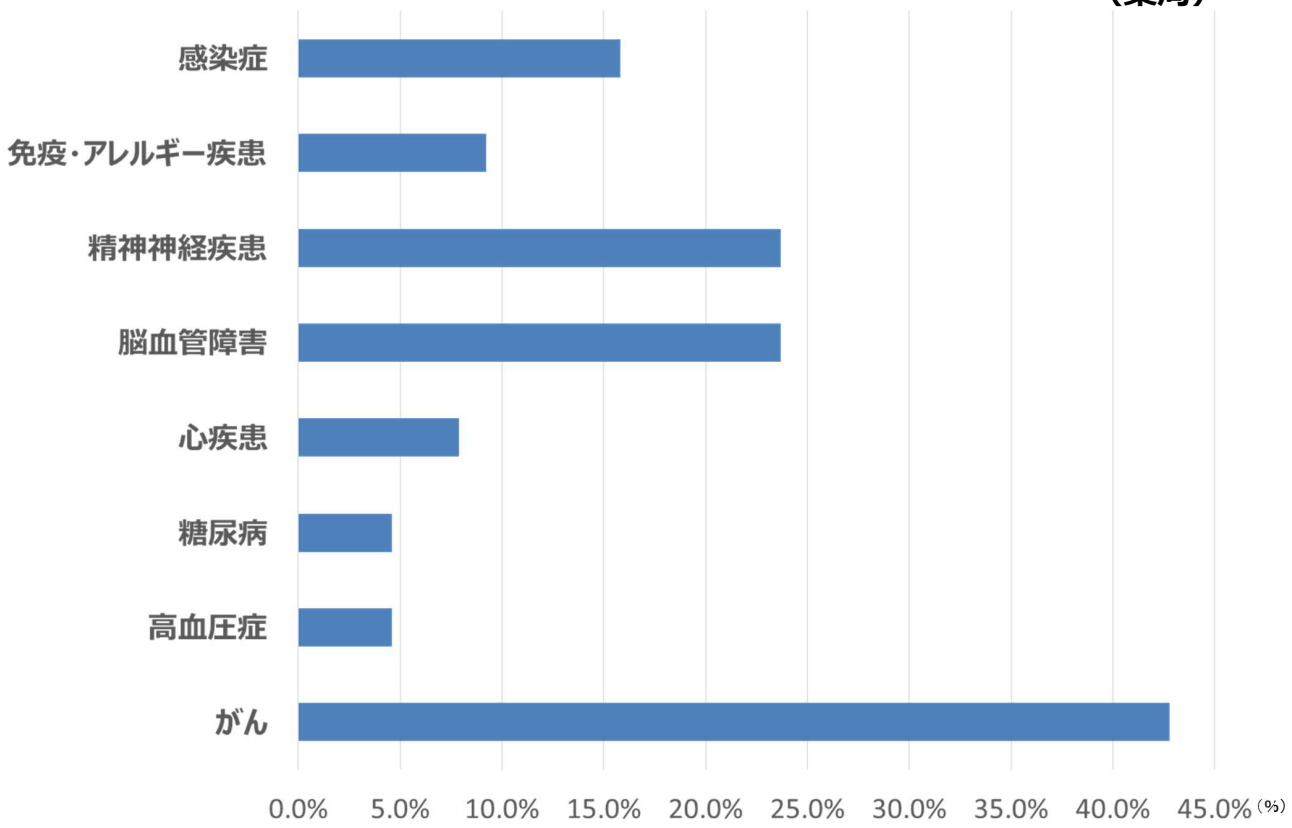
【参考資料】　平成２６年度実務実習実施状況　（病院）

支部	病院実習（７５．７%：３９９／５２７）			
	決定施設数（受入可能施設数）	決定人数（受入可能人数）		
		Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期
札幌	**91（　73）**	**87（　85）**	**112（　122）**	**91（　98）**
札幌以外　計	**90（　70）**	**30（　60）**	**54（　84）**	**25（　78）**
小樽	7（　4）	1（　1）	4（　2）	4（　3）
後志	1　1	0　0	2　2	0　1
函館	14（　11）	3（　6）	7（　10）	2（　8）
旭川	11（　11）	13（　20）	8（　21）	3（　23）
稚内	2（　1）	0（　0）	1（　1）	2（　2）
南空知	4（　2）	2（　2）	3（　3）	1（　1）
北空知	8（　6）	1（　2）	5（　7）	4（　7）
釧路	6（　6）	0（　3）	5（　7）	0（　7）
根室	1（　1）	0（　2）	1（　2）	0（　0）
十勝	11（　8）	3（　8）	6（　8）	5（　8）
北見	6（　3）	1（　2）	2（　2）	1（　2）
網走･遠軽	5（　3）	3（　4）	2（　4）	1（　3）
室蘭	7（　6）	2（　9）	3（　9）	1（　8）
日高	2（　2）	0（　0）	1（　1）	0（　0）
苫小牧	5（　5）	1（　1）	4（　5）	1（　5）
合計	**181（　143）**	**117（　145）**	**166（　206）**	**116（　176）**

在籍予定数：４７４名（北大３０、薬科大１９６、医療大２４８）

２５年１１月現在（２６'マッチングシュミレーション時点）

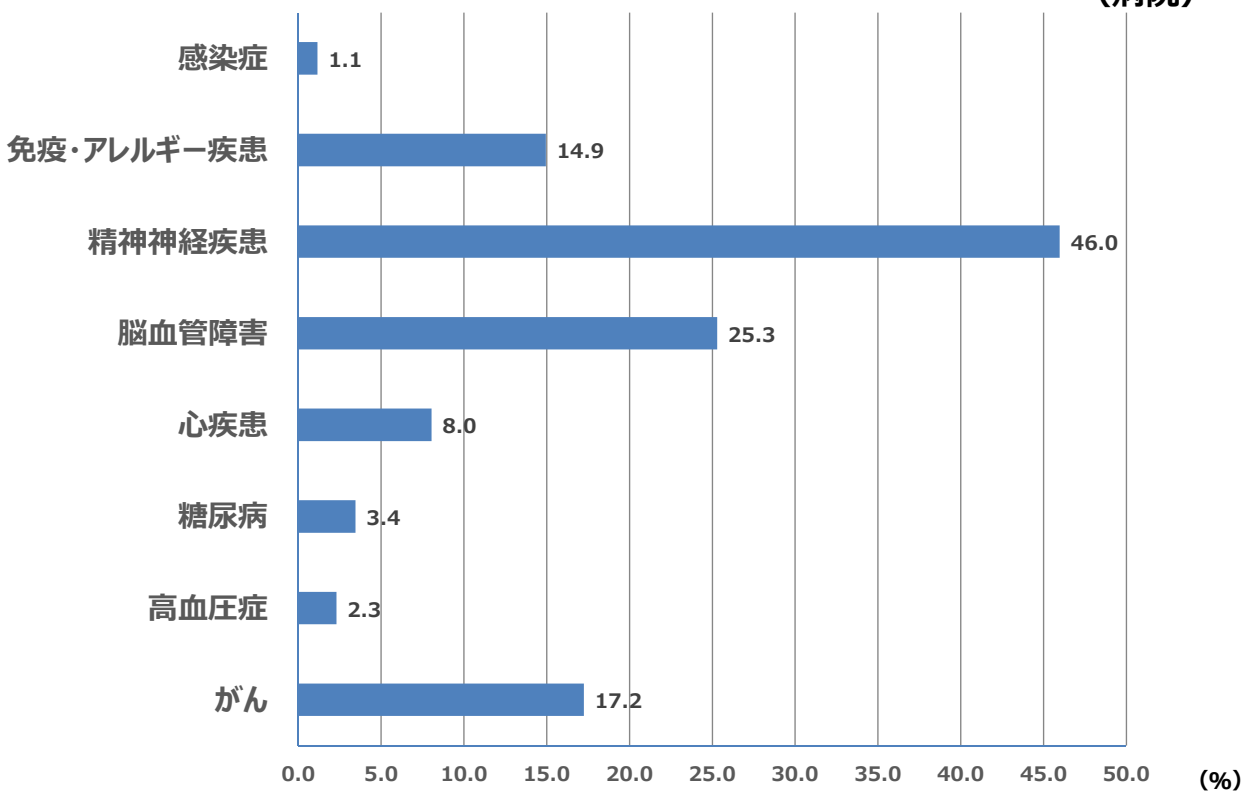
実習できない代表的疾患　北海道（n=152）（薬局）



実習できない代表的疾患

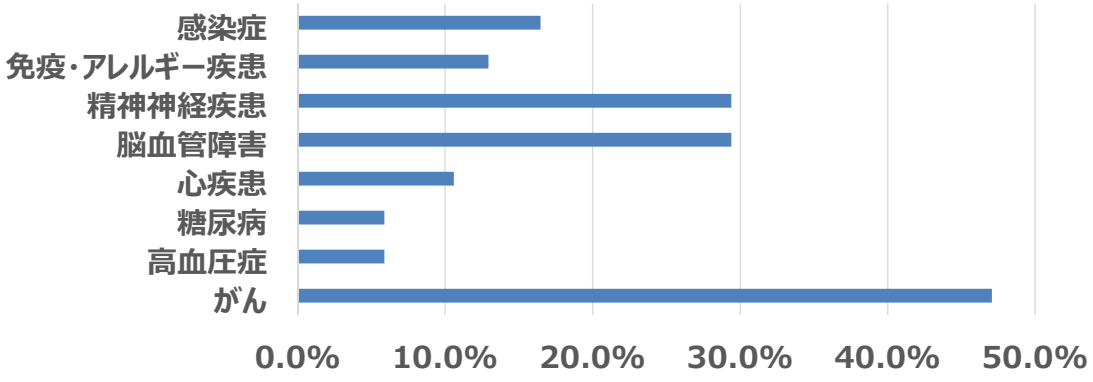
北海道（n=87）

（病院）

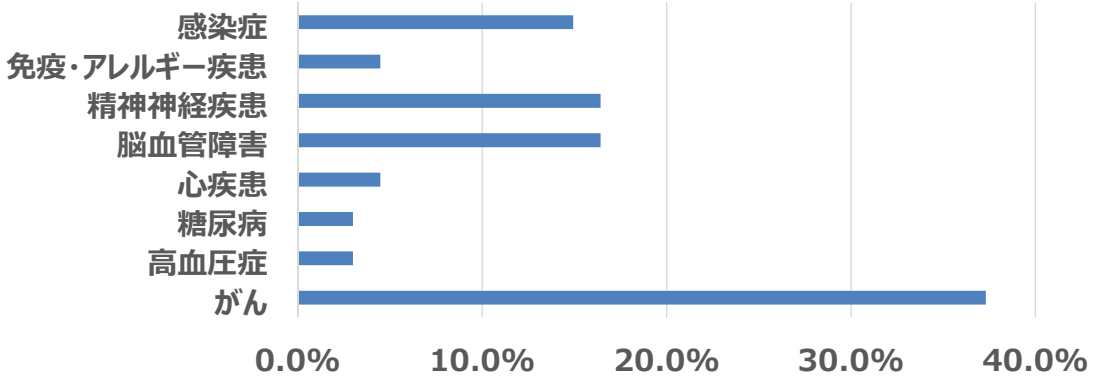


実習できない代表的疾患

札幌（n=85）

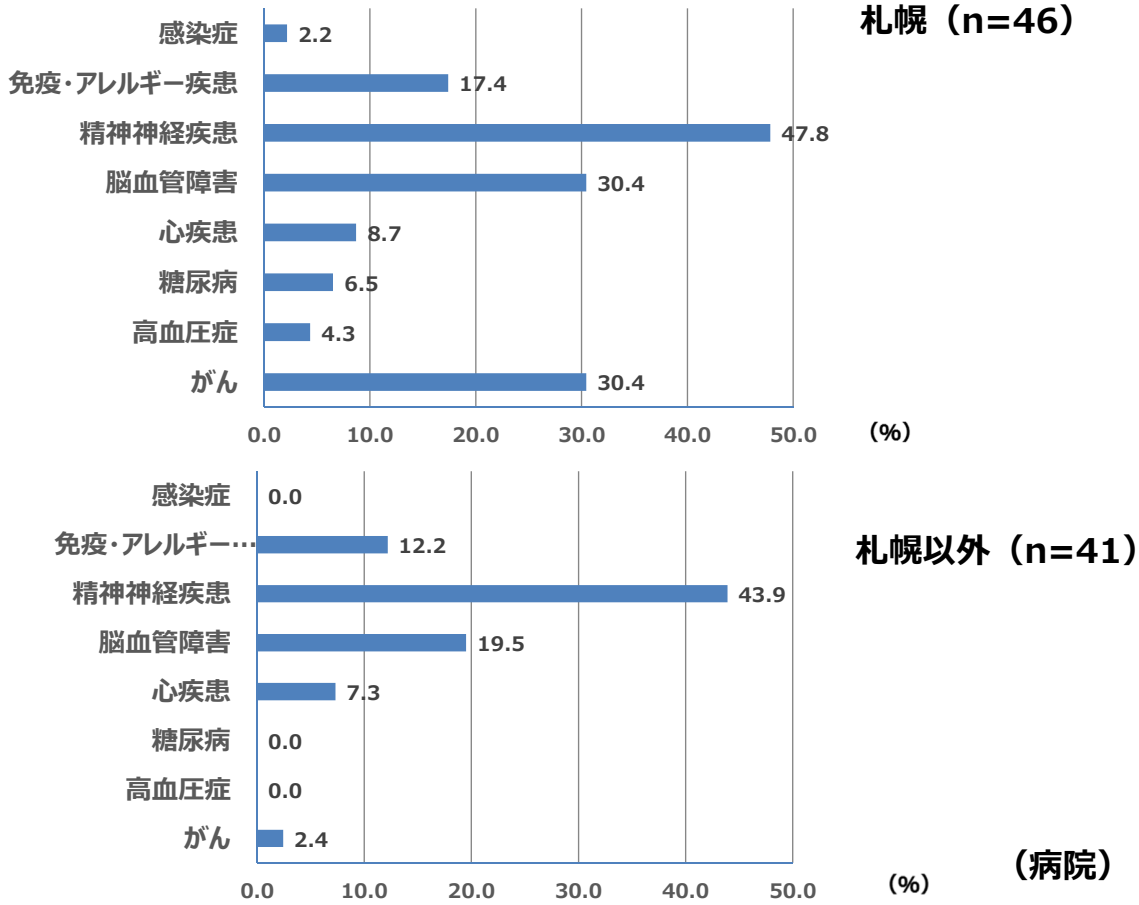


札幌以外（n=67）



（薬局）

実習できない代表的疾患

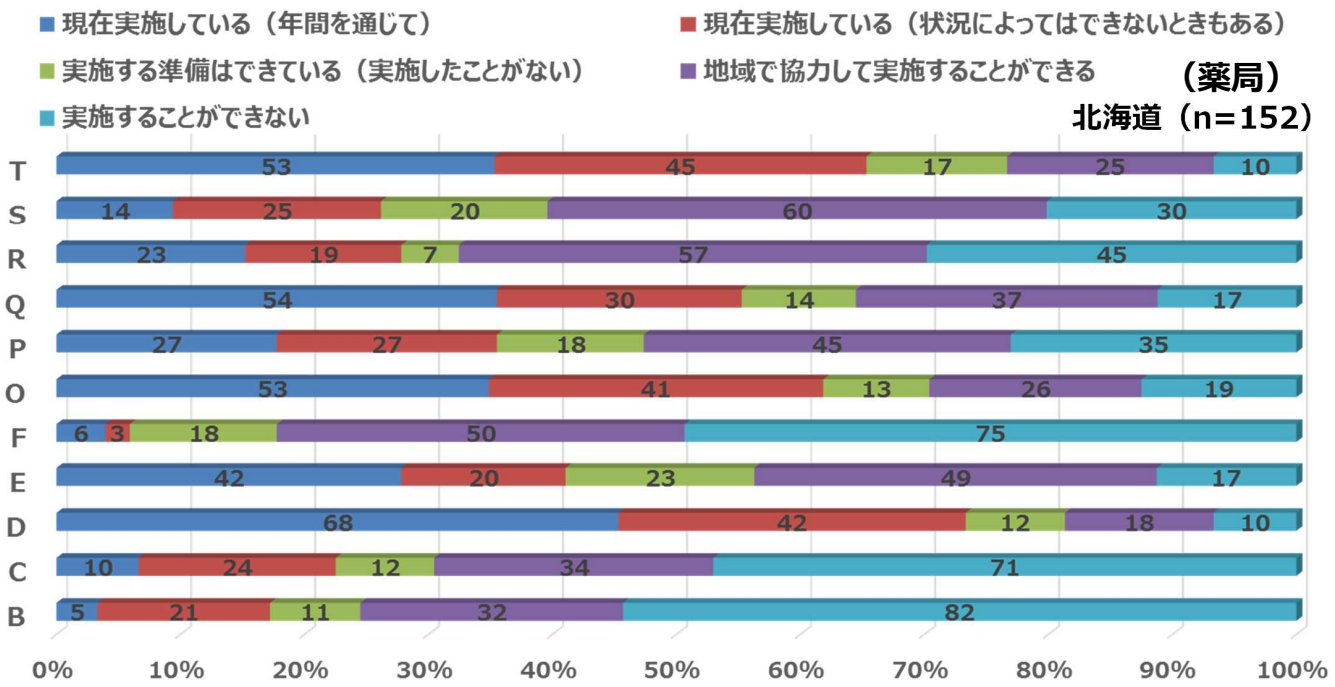


がんについて実施できる施設の実習状況（薬局）

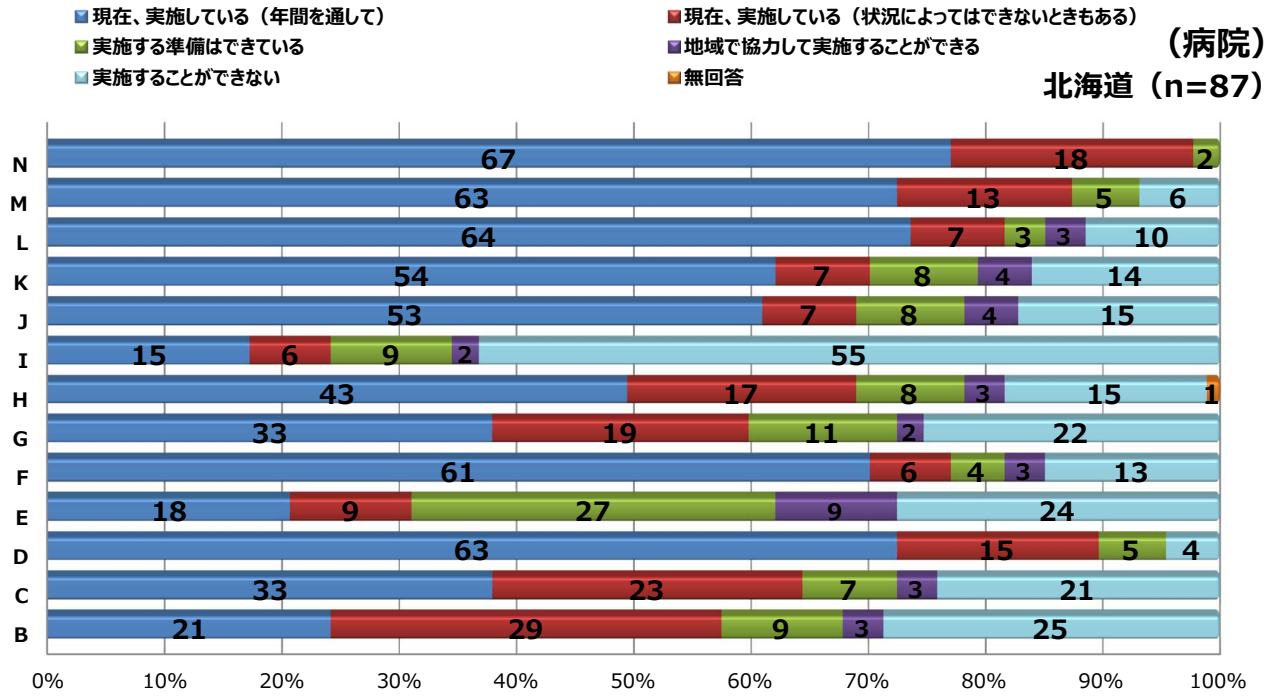
都道府県	がん実施可能施設数（回答施設数）	実施できない疾患/施設数						
		高血圧症	糖尿病	心疾患	脳血管障害	精神神経疾患	免疫・アレルギー疾患	感染症
北海道全域	87（152）	2	2	1	13	14	6	7
札幌市のみ	45（85）	1	1	1	8	10	6	5
札幌市以外	42（67）	1	1	0	5	4	0	2

がんについて実施できる施設の実習状況（病院）

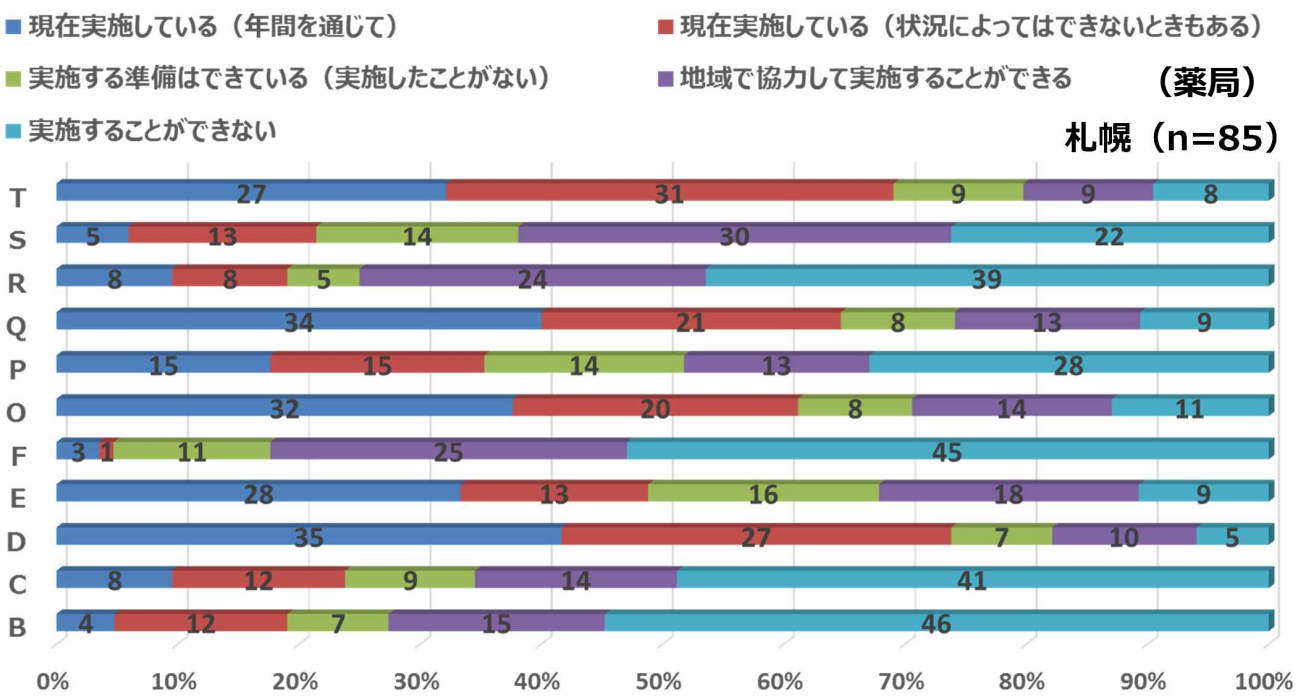
都道府県	がん実施可能施設数（回答施設数）	実施できない疾患/施設数						
		高血圧症	糖尿病	心疾患	脳血管障害	精神神経疾患	免疫・アレルギー疾患	感染症
北海道全域	72（87）	0	1	3	18	32	9	0
札幌市のみ	32（46）	0	1	0	11	15	5	0
札幌市以外	40（41）	0	0	3	7	17	4	0



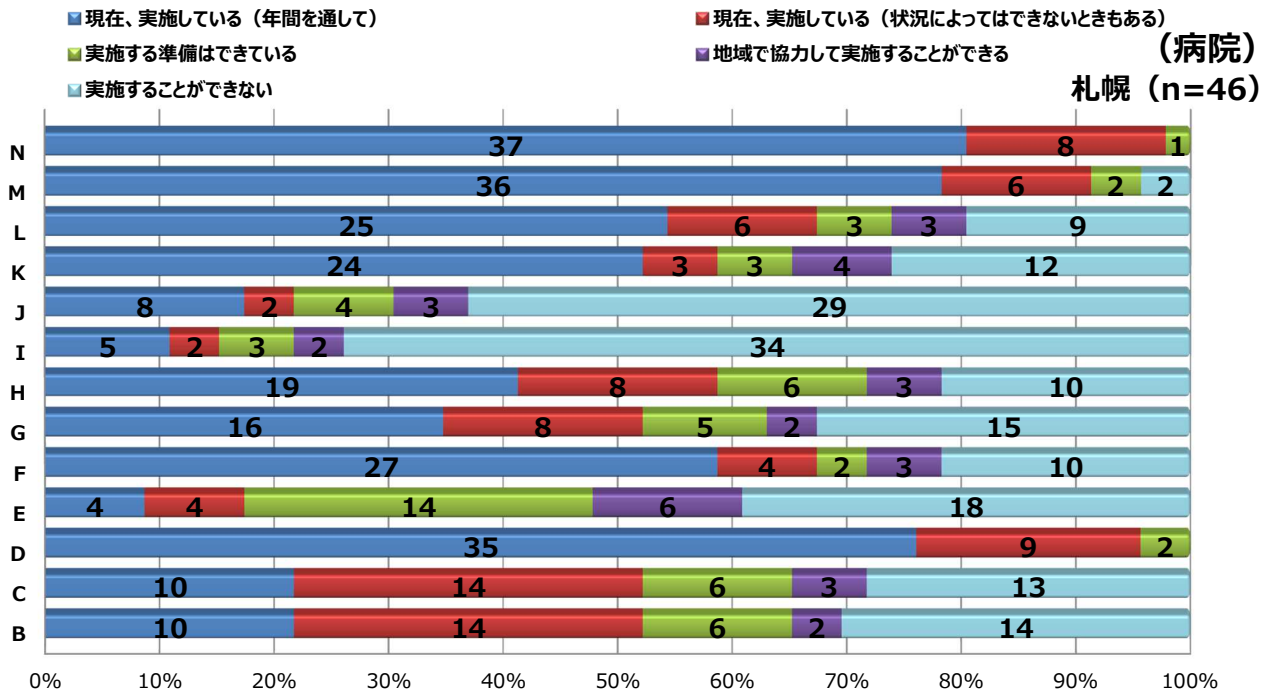
[B]終末期医療の実際を体験する。[C]緩和ケアの実際を体験する。[D]患者の薬物治療に継続的に関わり、より有効で安全な薬物治療の支援等を体験する。
[E]施設やその地域の災害時の体制を確認し、過去の事例等を参考にして、大規模な災害が発生した際の病院、薬局の業務や地域貢献、薬剤師としての役割等について討議、考察する。
[F]病院内あるいは在宅医療において注射剤（高カロリー輸液等）の無菌的混合操作を体験する。
[O]処方せん調剤における医療機関と薬局との連携や合同で開催される研修会やイベントを体験する。
[P]地域包括センターや保健所等を通して地域で連携して行われている医療、介護、福祉の実際を確認するとともに、できるだけ実際の活動を体験する。
[Q]薬剤師による在宅医療、居宅介護の支援業務（収集した各種情報に基づいた薬物療法の考察と提案等）を患者宅、施設等への訪問も含め継続的に体験し、在宅に関与する医療、介護スタッフと情報を共有し、患者をサポートする意義を理解する。
[R]学校薬剤師の指導のもと学校薬剤師業務を体験する。
[S]地域で行われている薬剤師の関与する保健衛生活動（薬物乱用防止活動、禁煙活動、認知症サポート等）を確認し、地域の活動に積極的に参加する。
[T]一般用医薬品、健康食品、医療機器等について、特徴や注意点等について確認し、第一類医薬品、要指導医薬品等、法規制に則り実際の店頭で指導薬剤師とともに来局者の健康相談と販売業務（受診勧奨や一般用医薬品販売など）を体験する。



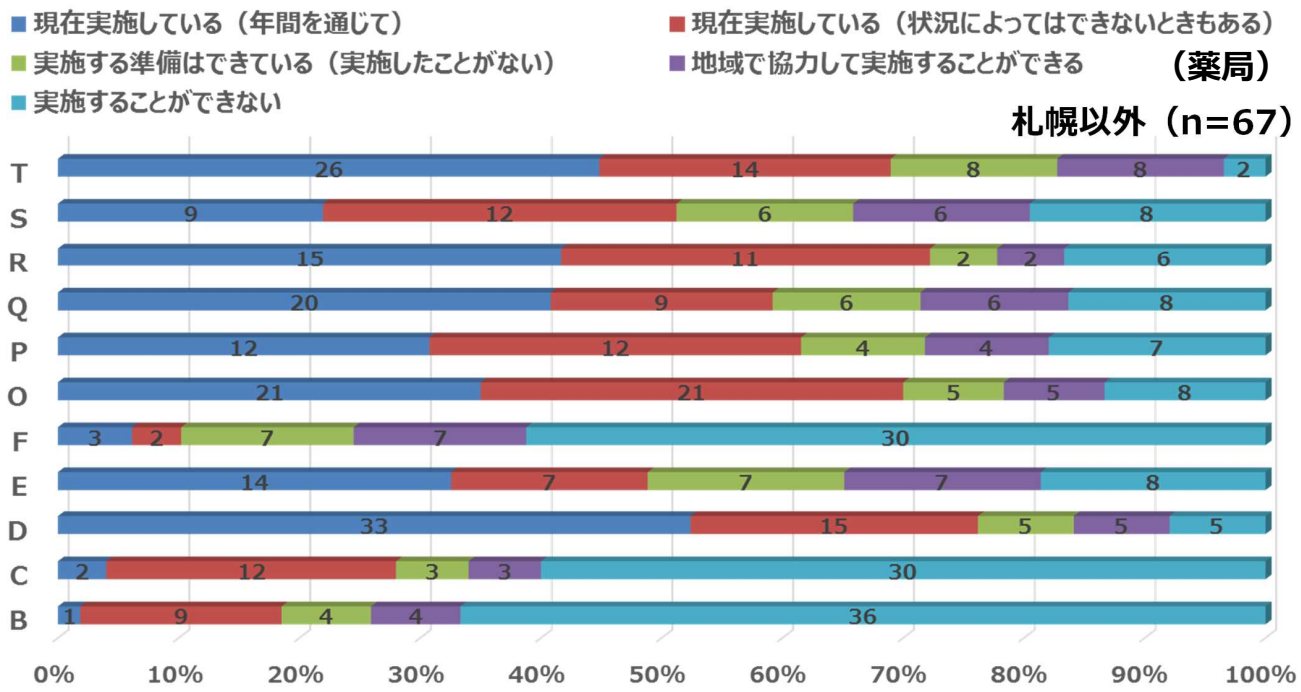
[B]終末期医療の実際を体験する。[C]緩和ケアの実際を体験する。[D]患者の薬物治療に継続的に関わり、より有効で安全な薬物治療の支援等を体験する。
[E]施設やその地域の災害時の体制を確認し、過去の事例等を参考にして、大規模な災害が発生した際の病院、薬局の業務や地域貢献、薬剤師としての役割等について討議、考察する。
[F]病院内あるいは在宅医療において注射剤（高カロリー輸液等）の無菌的混合操作を体験する。
[Ｇ]急性期医療（救急医療・集中治療・外傷治療等）の実際を体験する。[Ｈ]周術期医療の実際を体験する。
[Ｉ]周産期医療の実際を体験する。[Ｊ]小児医療の実際を体験する。[Ｋ]外来化学療法の実際を体験する。
[Ｌ]がん化学療法のレジメンチェックと抗がん剤調製やケミカルハザードの回避操作を体験する。
[Ｍ]終代表的な疾患を有する入院患者の薬物治療に継続的に関わり、患者に関する情報の収集と伝達、治療計画の考察、治療効果および副作用の評価等他の医療スタッフとの協働を、複数の病棟活動の中で体験する。
[Ｎ]カンファレンス、種々の医療チームの活動（ICT、NST、緩和ケアチーム、褥瘡チーム等）への参加等、他の医療スタッフとの連携を体験する。



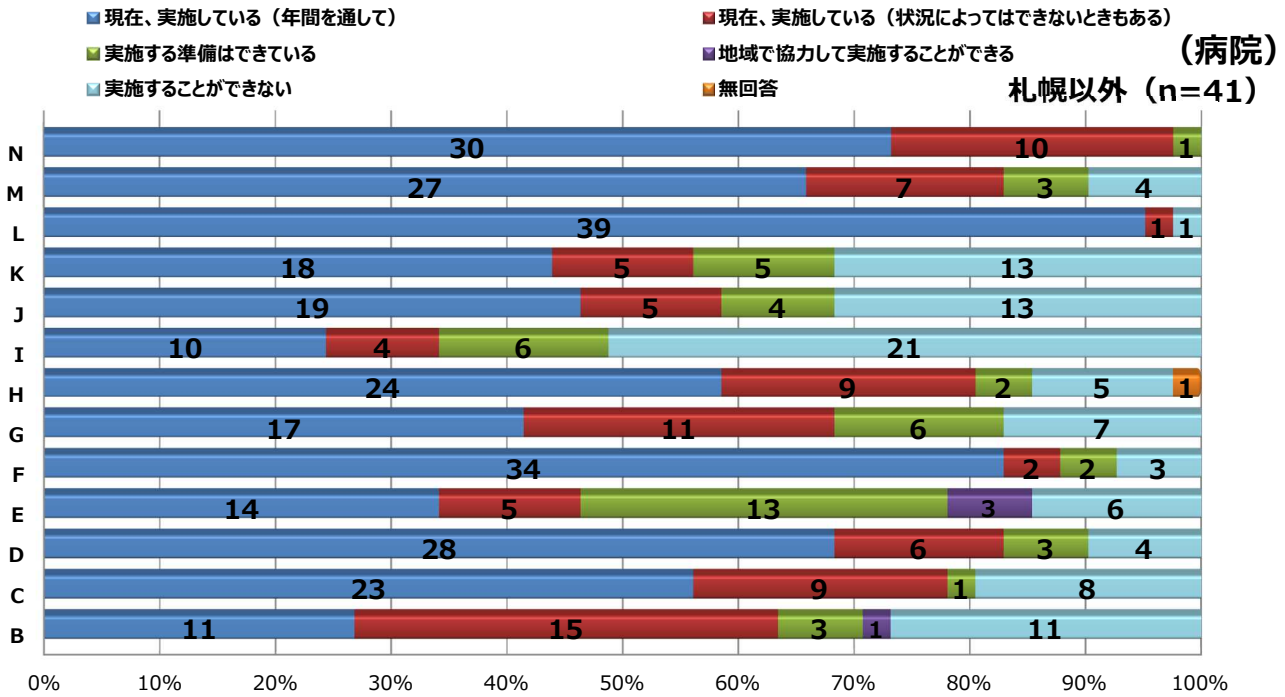
[B]終末期医療の実際を体験する。[C]緩和ケアの実際を体験する。[D]患者の薬物治療に継続的に関わり、より有効で安全な薬物治療の支援等を体験する。
[E]施設やその地域の災害時の体制を確認し、過去の事例等を参考にして、大規模な災害が発生した際の病院、薬局の業務や地域貢献、薬剤師としての役割等について討議、考察する。
[F]病院内あるいは在宅医療において注射剤（高カロリー輸液等）の無菌的混合操作を体験する。
[O]処方せん調剤における医療機関と薬局との連携や合同で開催される研修会やイベントを体験する。
[P]地域包括センターや保健所等を通して地域で連携して行われている医療、介護、福祉の実際を確認するとともに、できるだけ実際の活動を体験する。
[Q]薬剤師による在宅医療、居宅介護の支援業務（収集した各種情報に基づいた薬物療法の考察と提案等）を患者宅、施設等への訪問も含め継続的に体験し、在宅に関与する医療、介護スタッフと情報を共有し、患者をサポートする意義を理解する。
[R]学校薬剤師の指導のもと学校薬剤師業務を体験する。
[S]地域で行われている薬剤師の関与する保健衛生活動（薬物乱用防止活動、禁煙活動、認知症サポート等）を確認し、地域の活動に積極的に参加する。
[T]一般用医薬品、健康食品、医療機器等について、特徴や注意点等について確認し、第一類医薬品、要指導医薬品等、法規制に則り実際の店頭で指導薬剤師とともに来局者の健康相談と販売業務（受診勧奨や一般用医薬品販売など）を体験する。



[B]終末期医療の実際を体験する。[C]緩和ケアの実際を体験する。[D]患者の薬物治療に継続的に関わり、より有効で安全な薬物治療の支援等を体験する。
[E]施設やその地域の災害時の体制を確認し、過去の事例等を参考にして、大規模な災害が発生した際の病院、薬局の業務や地域貢献、薬剤師としての役割等について討議、考察する。
[F]病院内あるいは在宅医療において注射剤（高カロリー輸液等）の無菌的混合操作を体験する。
[Ｇ]急性期医療（救急医療・集中治療・外傷治療等）の実際を体験する。[Ｈ]周術期医療の実際を体験する。
[Ｉ]周産期医療の実際を体験する。[Ｊ]小児医療の実際を体験する。[Ｋ]外来化学療法の実際を体験する。
[Ｌ]がん化学療法のレジメンチェックと抗がん剤調製やケミカルハザードの回避操作を体験する。
[Ｍ]終代表的な疾患を有する入院患者の薬物治療に継続的に関わり、患者に関する情報の収集と伝達、治療計画の考察、治療効果および副作用の評価等他の医療スタッフとの協働を、複数の病棟活動の中で体験する。
[Ｎ]カンファレンス、種々の医療チームの活動（ICT、NST、緩和ケアチーム、褥瘡チーム等）への参加等、他の医療スタッフとの連携を体験する。



[B]終末期医療の実際を体験する。[C]緩和ケアの実際を体験する。[D]患者の薬物治療に継続的に関わり、より有効で安全な薬物治療の支援等を体験する。
[E]施設やその地域の災害時の体制を確認し、過去の事例等を参考にして、大規模な災害が発生した際の病院、薬局の業務や地域貢献、薬剤師としての役割等について討議、考察する。
[F]病院内あるいは在宅医療において注射剤（高カロリー輸液等）の無菌的混合操作を体験する。
[O]処方せん調剤における医療機関と薬局との連携や合同で開催される研修会やイベントを体験する。
[P]地域包括センターや保健所等を通して地域で連携して行われている医療、介護、福祉の実際を確認するとともに、できるだけ実際の活動を体験する。
[Q]薬剤師による在宅医療、居宅介護の支援業務（収集した各種情報に基づいた薬物療法の考察と提案等）を患者宅、施設等への訪問も含め継続的に体験し、在宅に関与する医療、介護スタッフと情報を共有し、患者をサポートする意義を理解する。
[R]学校薬剤師の指導のもと学校薬剤師業務を体験する。
[S]地域で行われている薬剤師の関与する保健衛生活動（薬物乱用防止活動、禁煙活動、認知症サポート等）を確認し、地域の活動に積極的に参加する。
[T]一般用医薬品、健康食品、医療機器等について、特徴や注意点等について確認し、第一類医薬品、要指導医薬品等、法規制に則り実際の店頭で指導薬剤師とともに来局者の健康相談と販売業務（受診勧奨や一般用医薬品販売など）を体験する。



[B]終末期医療の実際を体験する。[C]緩和ケアの実際を体験する。[D]患者の薬物治療に継続的に関わり、より有効で安全な薬物治療の支援等を体験する。
[E]施設やその地域の災害時の体制を確認し、過去の事例等を参考にして、大規模な災害が発生した際の病院、薬局の業務や地域貢献、薬剤師としての役割等について討議、考察する。
[F]病院内あるいは在宅医療において注射剤（高カロリー輸液等）の無菌的混合操作を体験する。
[Ｇ]急性期医療（救急医療・集中治療・外傷治療等）の実際を体験する。[Ｈ]周術期医療の実際を体験する。
[Ｉ]周産期医療の実際を体験する。[Ｊ]小児医療の実際を体験する。[Ｋ]外来化学療法の実際を体験する。
[Ｌ]がん化学療法のレジメンチェックと抗がん剤調製やケミカルハザードの回避操作を体験する。
[Ｍ]終代表的な疾患を有する入院患者の薬物治療に継続的に関わり、患者に関する情報の収集と伝達、治療計画の考察、治療効果および副作用の評価等他の医療スタッフとの協働を、複数の病棟活動の中で体験する。
[Ｎ]カンファレンス、種々の医療チームの活動（ICT、NST、緩和ケアチーム、褥瘡チーム等）への参加等、他の医療スタッフとの連携を体験する。